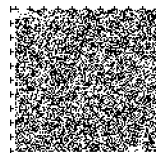


3




4

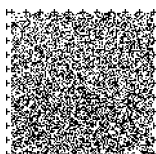
くすりのしおり

615101282

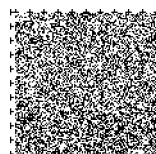
2008年2月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。	
商品名：三和葛根加朮附湯エキス細粒 主成分：葛根加朮附湯（Kakkonkajutsubuto） 剤形：かっ色の細粒 シート記載：アルミ分包 S-07 三和 葛根加朮附湯 2.5g（注：葛は、正式な漢字がこの PC の設定上では表記できないために類漢字を使用しています） 葛の漢字は「つつみがまえのなかにLに人」	
この薬の作用と効果について この薬は漢方薬です。あなたの症状や体質に合わせて処方してあります。悪寒発熱して頭痛があり、汗が出ず、首の後ろ・肩背部に緊張感のある人に用いられます。通常、肩こり、肩項部の神経痛、上半身の関節リウマチの治療に用いられます。	
次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。狭心症・心筋梗塞などの心臓に障害がある、またはその既往がある。甲状腺機能亢進症がある。重症高血圧症がある。 ・ 妊娠または授乳中 ・ 他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）。 	
用法・用量（この薬の使い方） <ul style="list-style-type: none"> ・ あなたの用法・用量は◀ : 医療担当者記入▶ ・ 通常、成人は1回2.5gを1日3回食前または食間に服用します。年齢、症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。 ・ 飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、次に飲む時間まで近い場合は飲まないで、その後は指示された時間から飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。 ・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。 ・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。 	
生活上の注意	
この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用） 主な副作用として、発疹、発赤、かゆみ、不眠、発汗過多、頻脈、どろき、体がだるい、興奮する、食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、排尿障害、のぼせ、舌のしびれなどが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。 まれに下記のような症状があらわれ、[] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる [偽アルドステロン症] ・ 体がだるくて手足に力が入らない、手足がひきつる、手足がしびれる [ミオパシー] 以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。	
保管方法その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光を避け、湿気の少ないところに保管してください。 ・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局に相談してください。 	
医療担当者記入欄 年 月 日	

※次ページも必ずお読みください。



2



1

SPコード

三和葛根加朮附湯エキス細粒

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。